

ワークショップ参加者を募集します！

<対象>

- 木崎中学校区内にお住まいの方 ※議員および市職員を除く

かつ

- まちづくりについて興味・関心のある方で、可能な限り継続的にワークショップに参加できる方

<ワークショップ開催予定>

回	日 時		内 容	会 場
第1回	令和2年1月25日(土) (予定)	9:00 ~	・ 地域における公共施設の課題(報告) ・ ワorkshopの進め方について(説明)	木崎 コミュニティ センター ホール (予定)
第2回	令和2年3月21日(土) (予定)	12:00	・ 再配置案の提示 → 意見交換	
第3回	令和2年6月13日(土) (予定)	3時間程度 を予定	・ 修正再配置案の提示 → 意見交換 ⇒ 検討結果をもとに地域の再配置案を作成	

※回数などは変更する可能性があります。

<応募方法>

応募用紙に必要な事項を記入の上、令和元年12月16日 午後5時までに、郵送、ファクス、電子メールまたは持参で、下記の申し込み先に提出してください。

申し込み方法	申し込み先	問い合わせ先
郵送	〒950-3393 新潟市北区葛塚3197番地 北区地域総務課 企画広報グループ 宛	地域別実行計画 コミュニケーション事務局 (北区地域総務課: TEL025-387-1175 財産活用課: TEL025-226-2387)
ファクス	025-387-1020 北区地域総務課 企画広報グループ 宛	
電子メール	chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp 北区地域総務課 企画広報グループ 宛	
持参	北区地域総務課	

<募集人数>

若干名(応募者多数の場合、応募理由などを考慮し選出します。)

<その他>

- ワークショップには、公募の参加者のほかに、各種団体などから推薦を受けた人も参加します。
- ワークショップ参加に伴う報酬・交通費等の支払いはありません。
- 選出結果は、令和元年12月27日までに、申込者にハガキで通知します。
- 個人情報については、ワークショップの実施のために使用し、その他の目的には使用しません。

ワークショップ(木崎地域)応募用紙

ふりがな		年 齢		歳
氏 名		電 話 番 号	-	-
住 所	〒 -			
応 募 理 由				

新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第1号

一緒に考えませんか？ 木崎地域のまちづくり ～公共施設のこれから～

新潟市では、平成27年7月に、「財産経営推進計画」を策定しました。この計画は、少子高齢化社会などに対応し、将来世代に過度な負担を強いることのないよう、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくための方針を定めたものです。

この計画に基づき、地域の身近な公共施設については、地域のみなさんと市が協働で、そのあり方について検討していきます。

<発行者> 地域別実行計画コミュニケーション事務局
(北区地域総務課: TEL025-387-1175 財務部財産活用課: TEL025-226-2387)
令和元年12月発行

木崎地域の公共施設のあり方について検討を開始します！

木崎中学校区では、児童数の減少に伴い小規模校となっていた笹山小学校のあり方について、平成29年から地域のみなさんと検討を行い、木崎小学校と統合することとなりました。現在は令和2年4月の統合に向けて、準備を進めているところです。

この小学校統合をきっかけとして、笹山小学校跡地の活用など、木崎中学校区の公共施設のあり方について、地域のみなさんと市がともに考えるワークショップを開催することしました。

ワークショップとは？

参加者が意見やアイデアを出し合い、話し合いをしながらその成果をまとめあげていく検討方法です。

参加者はいくつかのグループに分かれ、専門の司会(ファシリテーター)の進行で、年齢などにかかわらず対等な立場で意見交換を行います。

今回のワークショップの参加者は、木崎中学校区でコミュニティ活動をしている方や、公共施設利用団体の代表、PTAなどのほか、公募によるメンバーにより構成されます。



ワークショップの位置付け

「財産経営推進計画」では、中学校区を基本とした地域ごとに、地域のみなさんと協働で、公共施設の将来のあり方を示す地域別の「実行計画」を策定することとしています。ワークショップは、この実行計画を策定するにあたり、地域のみなさんのご意見を反映するための機会のひとつです。

新潟市は、ワークショップなどで得られた成果をもとに検討を行い、**地域別の「実行計画」**を策定します。

地域の公共施設の将来の姿(再配置計画)

ワークショップ参加者を募集します。
ワークショップ参加(公募)の
応募用紙は、最終ページにあります。

「シルクねえさん」
北区特産サツマイモ
シルクスイートキャラクター





取り組みの必要性(公共施設のあり方について検討する必要性)

- ・昭和50年代に整備された公共施設の老朽化が進み、修繕や建替えの時期が一斉に到来
- ・将来の人口減少と世代構成の変化への対応が求められている
- ・現状ではすべての公共施設を維持修繕・更新していくことは困難な状況 ... など

これらの課題に対応するため、平成27年7月に「財産経営推進計画」が策定されました。

計画では、公共施設を効率的に管理・利活用していくための基本的な考え方などを示しています。

公共施設の基本方針

総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設に係る費用の削減や需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。

財産経営の4つの柱

施設の最適化

既存施設の転用や多機能化・複合化、民間サービスによる代替などにより、施設の最適化を進めます。

施設の長寿命化

定期的な点検・診断と保全などにより、施設の長寿命化を図ります。

歳出の削減

施設の修繕・更新時期に合わせ、施設規模の見直しや管理・運営の効率化などによりコスト削減に努めます。

歳入の確保

施設跡地など不要となった財産は、売却・貸付を行うことで歳入の確保に努めます。

地域と協働で公共施設の最適化を検討し、地域別の「実行計画」を策定します。

財産経営推進計画では、地域のみなさんと協働で、地域単位で公共施設の最適化を検討し、具体的な地域別の「実行計画」を策定することとしており、中学校区を基本とした55の地域ごとに、学校統合や、主要な施設が更新時期を迎えるなど、公共施設に動きのある地域から順次策定に着手することとしています。

これまでに、4地域で「実行計画」が策定されました。
取り組みは右記よりご覧ください。



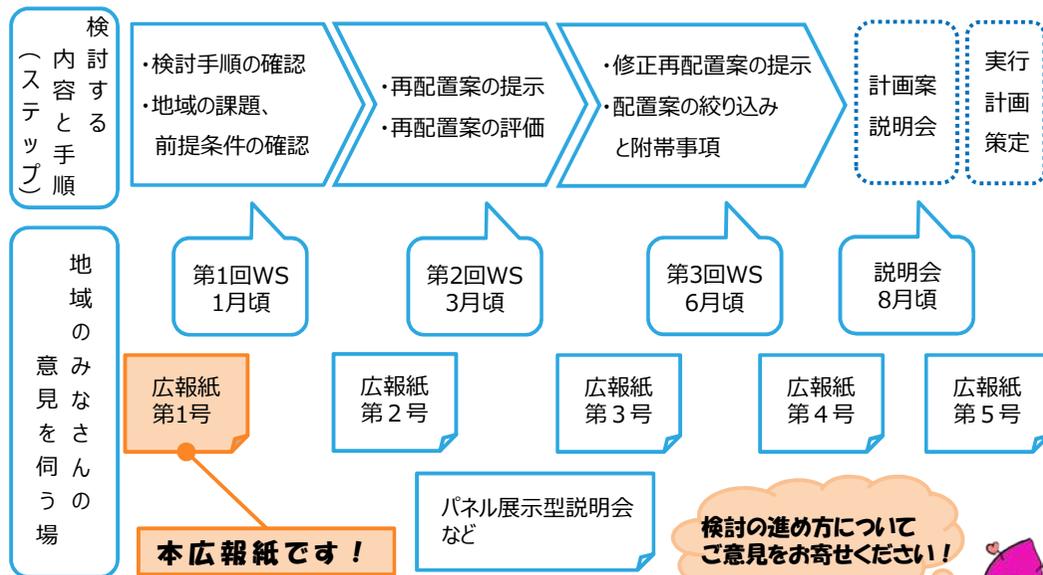
<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/jikkei.html>



地域別の「実行計画」の検討の進め方

木崎中学校区では、笹山小学校と木崎小学校の統合を契機として、公共施設のこれからを考えるワークショップ（WS）を開始します。ワークショップなどで得られた成果をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「木崎地域実行計画」を作成します。

ワークショップ以外にも、本広報紙などを通して地域のみなさんの意見を反映するための様々な機会を設けていきます。



ワークショップ以外に、地域のみなさんの意見を伺うコミュニケーション方法

広報紙

ワークショップや市の検討状況を地域のみなさんにお伝えするための広報紙です。

パネル展示型説明会

ワークショップなどでの検討の状況をしめしたパネルを地域のみなさんが立ち寄る施設に展示し、立ち寄られたみなさんに詳しい状況をお伝えするとともにご意見をお伺いします。



【パネル展示型説明会の様子】

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局（北区地域総務課・財務部財産活用課）

郵便

〒950-3393
新潟市北区葛塚3197番地

電話

025-387-1175

メール

chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

FAX

025-387-1020